

柔道しずおか

令和7年3月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田5-1-1 公益財団法人 静岡県体育協会内 静岡県柔道協会事務局
TEL 090-1832-9084 FAX 055-988-3611
メール shizuokajudo5803@yahoo.co.jp

【巻頭言】

静岡県柔道協会の挑戦と未来への展望

静岡県柔道協会会長 野田 昭一



を未来に継承するための重要な一歩です。

現状と課題

令和の時代、柔道を取り巻く環境は大きな変化に直面しています。静岡県柔道協会では、「変えるべきところは変え、変えてならない事は守り抜く」という基本理念のもと、2022年度から2024年度末にかけて中期事業計画を推進しています。その柱として掲げた4項目は、柔道人口減少への歯止め、国民スポーツ大会での上位入賞、安定した財政基盤の確立、そして法人化への準備です。これらの取り組みは、柔道が持つ「心身の鍛練」「礼儀の重視」「思いやりの精神」という価値

競技力向上への挑戦

柔道の競技力向上もまた重要な課題です。今年度の佐賀国民スポーツ大会では、少年男子がベスト16、女子が初戦敗退と厳しい結果に終わりました。この結果を受け、組織的かつ体系的な強化策の必要性が改めて認識されています。指導者育成、選手育成プログラムの充実、そして県内の競技力向上のための施設環境整備を含む総合的な取り組みが求められています。

財政基盤の確立と法人化への展望

柔道人口の減少に伴い、大会運営の財政基盤も厳しい状況にあります。大会役員の精鋭化や参加費の見直しにより、改善の兆しが見えています。しかし、持続可能な運営を実現するためには、さらなる財政基盤の強化が必要です。また、多くのスポーツ協会が法人化を目指す中で、静岡県柔道協会もその流れに遅れを取らないための具体的な取り組みが求められています。

います。

未来を切り開くために

2025年は、柔道界にとって挑戦の年となるでしょう。2024年に開催されたパリオリンピックは、世界中の柔道ファンを沸かせると同時に、柔道を始めるきっかけを提供してくれました。本協会としても、地域における柔道大会やイベントを通じて、多くの人々が柔道の魅力に触れられるよう努めてまいります。

静岡県柔道協会は、これからも多くの皆様と協力しながら、柔道の発展と普及に全力を尽くしてまいります。先人たちの教えに学びつつ、柔道が持つ普遍的な価値を未来に伝えるために、変化を恐れず、新しい時代の柔道を共に築いていきたいと考えています。

皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

大会報告

第78回 国民スポーツ大会 柔道競技(佐賀県佐賀市)

期間：2024年10月12日(土)～14日(月祝)
会場：SAGAサンライスパークSAGAアリーナ

少年男子の部

少年男子チーム

監督 渡部直樹 静岡学園高校

校教諭

コーチ 松野 立 浜松北高校

教諭

トレーナー 八代直也 (SPCC)

先鋒 石川 健 (3年)

静岡学園高校

次鋒 長屋 進 (3年)

加藤学園高校

中堅 川合 遼 (2年)

静岡学園高校

副将 佐藤然治 (3年)

加藤学園高校

大将 大橋弘誠 (2年)

静岡学園高校

今回は、「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」へと名称が変更されて初の開催となり、少年男子は全県出場で実施されました。

静岡県代表選手は、全国大会や東海大会等で実績を挙げた選手の中から選出されました。特に石川選手と佐藤選手は、昨年の鹿児島国体を経験している選手です。チームは、3年生が3名、2年生が2名の編成で本大

会に臨みました。

また、静岡県柔道協会よりロゴマークの入りの柔道衣を贈呈いただき、選手たちは、静岡県代表としての誇りを胸に戦うことができました。

試合結果は以下のとおりです。

〈二回戦〉

静岡県 — 石川県

☆先鋒

石川健(二本 北野慎之祐 酢原士憲 袴)

石川(左組み) 北野(左組み)の相四つ。石川が開始から小内刈、足払を仕掛ける。相手も背負投で応戦するも、徐々に石川のペースになり、1分30秒、相手に消極的指導、2分30秒に場外指導が与えられる。その後、積極的に攻め続け、3分13秒、小内刈からの右小外掛で技ありを奪う。そのまま、袖車絞を施しながら横四方固に抑え込み、合わせ技一本。

☆次鋒

長屋進(引き分け 喜多雄大 津幡 袴)

長屋(右組み) 喜多(左組み)のケンカ四つ。長屋は内股、喜多は大内、内股を仕掛け

両者一歩も譲らず。お互い引き手の取り合いで、1分過ぎに両

者指導。2分10秒、長屋が奥襟を掴み内股で相手を大きく崩す。続いて3分10秒にも、内股からの小外掛のフェイントを仕掛けるも、いずれもポイントにはならず。そのまま、両者決定打に欠き、引き分け。

☆中堅

川合遼(抜きあり) 深谷悠聖(津幡 袴)

川合(左組み) 深谷(左組み)の相四つ。試合序盤から、川合が相手の釣り手を落とし、大内、内股、背負投と積極的に攻め立てる。相手は一方的な防御姿勢となり、50秒に消極的指導、1分30秒に場外指導が与えられる。3分15秒には、川合が内股からの小内刈で技ありを奪う。その後、攻め続け、相手に3つ目の指導がいつ来てもおかしくない展開であったが、そのまま試合終了。2-0でリードを広げる。

☆副将

佐藤然治(二本 岡田鳳之介 津幡 袴)

佐藤(右組み) 岡田(左組み)のケンカ四つ。長身の相手に対し、開始早々相手の左袖を掴み、右袖釣込腰を仕掛けるも、相手が腹ばいに倒れポイント無し。56秒、相手が棒立ちになったところに、佐藤得意の小外掛が見事に決まり一本。3-0としチームの勝利が決定した。

☆大将

大橋弘誠(引き分け) 浅田峻輔(津幡 袴)

大橋(左組み) 浅田(右組み)のケンカ四つ。長身の相手

は、大橋の頭を抑えつけ、大内刈、内股で前に出てくる。大橋も、釣り手を高く押し当てながら、相手の攻撃をかわし、大内刈、体落で応戦。更に、大橋得意の右一本背負投を何度か仕掛けるも、懐の深い相手に上手く捌かれてしまう。大橋優勢のまま、3分10秒には、相手に組み合わない指導が与えられるが、そのまま試合終了。引き分けとなったが、3-0の完封で勝利した。

〈三回戦〉

静岡県 — 神奈川県

☆先鋒

石川健(二本 大柿遼馬 霧大相 袴)

石川(左組み) 大垣(左組み)の相四つ。石川が開始から小内刈を中心に足技で積極的に攻め立てる。大柿は背負投を仕掛け得意の寝技を中心に応戦する。1分20秒、相手の背負投で寝技に持ち込まれ、抑込を逃れた瞬間、送襟絞に移行され、一本負け。一瞬の隙をつかれ、先鋒戦での手痛い敗戦で、1点のリードを許す。

☆次鋒

長屋進(引き分け) 野中海心(桐蔭 袴)

長屋(右組み) 野中(左組み)のケンカ四つ。相手は1階級上のインターハイ2位の選手。それでも長屋は内股を中心

に攻め立て、互角以上の試合を展開。2分過ぎ、相手の小外掛

し。3分には、両者に組み合わない指導が与えられる。その後、長屋は攻め続け、ケンケン内股を仕掛けた後に、相手に2つ目の指導。その後は、両者ポイント無く引き分け。1階級上の相手に指導差で優位に立つ堂々の内容であった。

☆中堅

川合遼(袴) ナコステイン(左組み)の相四つ。相手は1階級上のインターハイチャンピオン。試合序盤から、相手の圧力に圧倒され、開始30秒、偽装的な攻撃で指導。その後、相手の攻めを上手くかわし、1分40秒には、消極的指導が両者に与えられる。後が無い川合は、その後、大内、背負投と必死に食らいつく。相手得意の密着戦を何とか凌いでいたが、残り15秒、強引な組み手からの隅返で技ありを奪われ試合終了。0-2でリードを広げられる。

☆副将

佐藤然治(引き分け) 竹内檜(霧大相 袴)

佐藤(右組み) 竹内(左組み)の相四つ。相手はインターハイの準決勝で一本負けしている、全国2位の選手。試合序盤から、両者得意の背負投、袖釣込腰、大外刈と、息をつかせぬほどの鏝迫り合いが続く。1分30秒には両者組み合わない指導が与えられ、その後、お互い一歩も譲らない試合展開が続く。試合終了間際、相手の小外刈に

大きく体勢を崩すも、腹ばいになつて何とか逃れ、ここでタイムアップ。静岡県チームの負けが確定した。

☆大将

大橋弘誠(二本) 井上大智(壽大複慶)

大橋(左組み) 井上(右組み)のケンカ四つ。同級生の相手に対し、試合開始早々の右一本背負投が長身の井上の懐にスッポリと嵌り、そのまま押し込み、技ありを奪う。その後、井上の強烈な内股からの大内刈を何とか凌ぐ。1分10秒、再び仕掛けた大橋右の一本背負投を、相手が上手く隅落で切替し技あり、そのまま袈裟固で抑え込まれ、合わせ技一本。0-3で終戦した。

《総括》

今年の少年男子チームは、選手権やインターハイで入賞した選手を複数擁し、国スポでもベスト4進出を十分狙える実力を備えています。しかし、3回戦では、神奈川県に0-3と完封負けを喫しました。その後、神奈川県は、準決勝で福岡に5-0、決勝では、東京に3-1と圧倒的な力を見せつけて優勝を果たしました。優勝チームを相手に、また階級で下回るハンデもありながら、選手たちは静岡県代表としての誇りを持ち、懸命に戦い抜きました。

来年度の少年男子は、東海ブロックから1チームのみが本大会に出場できるといふ、大変厳しい状況とはなりますが、今大会の経験を活かし上位進出を目指したチームづくりと強化に取り組んでまいります。

最後になりましたが、会長をはじめ静岡県柔道協会関係者の皆様のご支援とご声援に深く感謝申し上げますとともに、次年度の大会でのさらなる飛躍を誓い、大会結果の報告といたします。

静岡県少年男子監督 渡部直樹



女子の部

《女子チーム》

監督 小椋 俊彦

コーチ 加賀谷千保 静岡県警察

藤枝順心高校教諭 トレーナー 山崎美和子

スポーツ堂接骨院

先鋒 村松 杏咲 藤枝順心高校

次鋒 小林 美咲 静岡県警察

中堅 永田りん子 東海大翔洋高校

副将 中道 咲桜 東海大翔洋高校

大将 本郷 安季 東海大翔洋高校

鷹柔クラブ

大将(欠場) 米川 明穂 コマツ

女子は、八月に開催された東海ブロック予選において、

静岡県 1-0 三重県

静岡県 ①-1 岐阜県

静岡県 2-3 愛知県

の結果により予選2位で本大会出場を獲得しました。



本大会前に東海ブロック予選で大活躍の大将、米川明穂(コマツ)選手が怪我により欠場の報告を受け、静岡県体重別選手権優勝者の本郷安季(鷹柔クラブ)選手を急遽選出し、本大会へ臨みました。

本大会は全国より各ブロックを勝ち抜いた21チームと開催地の佐賀県を含めた22チームでのトーナメント方式によって開催されました。

【先鋒】 52kg以下(少年) 初段 村松 杏咲 藤枝順心高校2年

【次鋒】 57kg以下(成年) 四段 小林 美咲 静岡県警察

【中堅】 52kg以上63kg以下(少年) 二段 永田りん子 東海大翔洋高校3年

【副将】 63kg以上73kg以下(少年) 三段 中道 咲桜 東海大翔洋高校3年

【大将】 無差別 四段 本郷 安季 鷹柔クラブ

【大将】 無差別 ※東海予選出場 参段 米川 明穂 コマツ

【二回戦】 静岡県 0-3 長崎県

★先鋒 村松杏咲×引き分け×近藤杏樹 村松(左組) 近藤(右組)のケンカ四つ。近藤は全国高校総合体育大会(インターハイ)48kg級優勝者で寝技が得意。村松も寝技が得意で、近藤の寝技対策を施しながら、積極的に前に出て近藤が崩れたところを寝技(通称三角返し)で攻撃する。お互いが寝技を中心とした攻めを展開したが、最後まで決めきれず、惜しくも引き分け。次鋒



【副将】 63kg以上73kg以下(少年) 三段 中道 咲桜 東海大翔洋高校3年



【大将】 無差別 ※東海予選出場 参段 米川 明穂 コマツ



【先鋒】 52kg以下(少年) 初段 村松 杏咲 藤枝順心高校2年



【中堅】 52kg以上63kg以下(少年) 二段 永田りん子 東海大翔洋高校3年

につなげた。

★次鋒

小林美咲引込 〇瀬戸口菜南

小林(左組) 瀬戸口(右組)

のケンカ四つ。瀬戸口は光仁会病院で全日本B強化選手(現在は指定外)。瀬戸口は高身長を生かし釣手で小林の背部を握り前に出て圧力をかけてくる。小林は釣手を左右に動かしその圧力をかわすが、9秒、小林に場外指導一。1分4秒、小林に偽装攻撃で指導二。2分、瀬戸口はさらに圧力をかけ、小林が釣手を使って抵抗する力を利用して引込返で技あり。3分50秒、小林の手首を掴み、瀬戸口に指導一。瀬戸口はその後も前に出てくるが、小林も粘り、瀬戸口の技あり勝ち。静岡が一点を追う展開。

★中堅

永田りん子(裏投) 〇荒木心乃夏

永田(右組) 荒木(右組)の

相四つ。永田は開始直後から袖釣腰で積極的に技を仕掛ける。32秒、永田が奥襟を掴んだ瞬間、荒木が裏投げを仕掛け、永田が投げられる際に両手を同時に畳についたため、技ありと指導一のダブルポイント。永田は一本勝ちを狙いに、内股、大内刈を仕掛けるが、荒木も必死に絶え、荒木の技あり勝ち。静岡二点を追う展開。

★副将

中道咲桜(引き分け) ×田端日菜理

中道(右組) 田端(右組)の

相四つ。田端は全国高校選手権(インターハイ)ベスト8。中道は技あり勝ち以上をしなくてはチームが負けてしまうため、得意の支釣込足や大外で積極的仕掛ける。1分13秒、田端に消極的指導一。2分29秒、両者消極的指導(田端指導二、中道指導一)。中道は息があがるなか最後まで必死に攻め続けるも引き分け。静岡の敗退が決まる。

★大将

本郷安季(裏投) 〇坂口今日香

本郷(右組) 坂口(左組)の

ケンカ四つ。坂口は全国警察選手権大会3位に入る実力者。坂口は本郷よりも大柄。坂口は釣り手で背部を掴み前に出て圧力をかける。本郷は圧力に負けなように足を動かし、坂口の組手が不十分な状態をつくり、釣込腰や大腰を仕掛ける。1分29秒、本郷が大腰を掛けた瞬間に坂口が裏投を仕掛け、坂口の一本勝ち。静岡0対3で完敗。

《総括》

女子チームは、令和元年第74

回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)で2位の成績以来5年ぶりの東海ブロック予選を勝ち抜き本大会出場となりました。東海ブロック予選前から、少年の所属練習への参加や、米川選手が所属するコマツ柔道部の合宿に参加させていたことなどもあり、選手間の雰囲気は大変良いチームでした。選手は

東海ブロック予選を本当に一生懸命に戦いました。勝たせてあげられなかったのは私の指導力不足だと痛感しております。選手には、本大会を通じて普段とは違う経験や刺激をうけたことで、今後の人生に少しでも役立っていただけだと思います。特に少年選手は将来静岡県の代表として活躍してくれると信じています。コーチ、トレーナー、各所属の先生に支えていただき選手が怪我なく無事に帰りました。最後に会長をはじめ静岡県柔道協会関係者の支援・激励、さらには選手への柔道衣の贈呈、本当に心から感謝を申し上げます。また直接会場に足を運び選手たちに熱い声援を送っていただき本当にありがとうございました。

静岡県女子監督 小椋俊彦



第66回

静岡県柔道祭開催

令和6年11月17日(日) 午前9時30分開会式 静岡県武道館

静岡県柔道祭は、小学生から一般まで6カテゴリーの団体戦で行われる大会。東中西各支部の予選を勝ち抜いて出場を決めたチームが、静岡県No.1の座を目指す一大イベント。

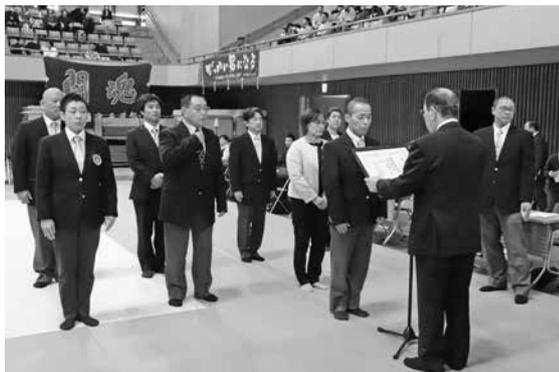
開始式の後、恒例の静岡県柔道協会表彰式が行われ、柔道発展に尽力された指導者や、全国大会などで好成績を上げた選手への功績を讃え、次の方々が表彰された。



〈令和6年度 受賞者〉

【奨励賞】

- ・長橋 正宏(東部支部推薦)
- ・菊池としえ(東部支部推薦)
- ・赤池 理(東部支部推薦)
- ・稲川 郁子(中部支部推薦)
- ・山崎美和子(中部支部推薦)
- ・森田 賢一(西部支部推薦)
- ・岡田 政之(西部支部推薦)
- ・齋藤 修司(西部支部推薦)



【優秀選手賞】

- ・川合 遼(静岡学園高校2年)
- 第46回 全国高等学校柔道選手権大会 男子81kg級 第3位
- 石川 健(静岡学園高校3年)
- 第73回 全国高等学校総合体育大会 男子60kg級 第3位
- 佐藤 然治(加藤学園高校3年)
- 第73回 全国高等学校総合体育大会 男子100kg級 第3位

- ・長屋 進 (加藤学園高校3年)
- 2024年度全日本ジュニア柔道選手権大会 男子66kg級 第3位

- ・芹澤 綺麗 (キラリ夢学校2年 藤枝柔道倶楽部)
- 第55回 全国高等学校定時制通信制体育大会柔道競技 女子63kg級 優勝

- ・小山 柚香 (藤枝順心中学校1年)
- 第55回 全国中学校柔道大会 女子40kg級 第3位

- ・帯金 柚良 (藤枝順心中学校3年)
- 第55回 全国中学校柔道大会 女子57kg級 第3位

- ・村越 凜 (藤枝順心中学校3年)
- 第55回 全国中学校柔道大会 女子63kg級 第3位

- ・佐藤 正樹 (裾野柔道会)
- 第2回 世界ろう者柔道選手権大会 男子66kg級 優勝

表彰式が終わると令和6年全国日本柔道形選手権大会に出場した正治和也五段、芹澤翔也四段による投の形の演武が披露された。

〈講道館柔道 形演武〉

講道館柔道「投の形」

- 取・正治 和也 五段 (静岡県警察)
- 受・芹澤 翔哉 四段 (静岡県警察)
- (令和6年全国日本柔道形競技大会出場)

【解説】

投の方(なげのかた)は、「乱取の形」とも言い、乱取に用いる投技の理合を理解、体得させるために作られた形である。

る。手技、腰技、足技、真捨身技、横捨身技の各々からその代表的な技3本ずつ選んで作られたもので、各技とも、右技、左技の双方を練習するようになってきている。その各々の技について崩し、作り、掛け、および受け方を練習することによって、投技における基本を身につけることができる。



息を呑むような静寂の中、取、受、両者の形に取組む凜とした姿勢と、力強く美しい技に魅了された後、いよいよ全85チームによる各カテゴリーの試合が始まり、会場はにわかに活気を帯びていった。

〈第66回 静岡県柔道祭成績〉

- ・小学生の部
- ・優勝・藤枝柔道倶楽部

- ・二位…小山町柔道連盟
- ・三位…NPO法人 武道学会
- ・三位…浜北柔道

- 【中学男子の部】
- ・優勝…静岡学園中学校
- ・二位…東海大学附属静岡翔洋 高校中等部
- ・三位…育誠館
- ・三位…富士市柔道会

- 【中学女子の部】
- ・優勝…藤枝順心中学校
- ・二位…東海大学附属静岡翔洋 高校中等部
- ・三位…新居中学校
- ・三位…長岡中学校

- 【高校男子の部】
- ・優勝…静岡学園高校
- ・二位…加藤学園高校
- ・三位…浜松城北工業高校
- ・三位…東海大学附属静岡翔洋 高校

- 【高校女子の部】
- ・優勝…飛龍高校
- ・二位…藤枝順心高校
- ・三位…加藤学園高校
- ・三位…浜松商業高校

- 【一般の部】
- ・優勝…日大三島柔友会
- ・二位…静岡刑務所A
- ・三位…栗田産業株式会社
- ・三位…三島柔道会

- 【優秀選手】
- 小学生の部
- ・小澤 雄成 (藤枝柔道倶楽部)
- ・庄司 帆伽 (小山町柔道連盟)
- 中学男子の部
- ・渡部龍ノ臣 (静岡学園中学校)
- ・清水 楽 (東海大学附属静岡翔洋高校中等部)

- 中学女子の部
- ・吉田 唯良 (藤枝順心中学校)
- ・王 美希 (東海大学附属静岡翔洋高校中等部)
- 高校男子の部
- ・石井 克明 (静岡学園高校)
- ・山口 楽斗 (加藤学園高校)
- 高校女子の部
- ・松村 美来 (飛龍高校)
- ・村松 杏咲 (藤枝順心高校)
- 一般の部
- ・大橋 海斗 (日大三島柔友会)
- ・下橋 颯斗 (静岡刑務所A)

普及委員会の女性部会による託児所開設

本大会(第66回 静岡県柔道祭)では、普及委員会の女性部会による託児所を開設しました。保育士1名、ボランティア1名、女性部委員2名の4名体制で、選手のお子さんや審判員・役員のお子さんなど、1歳6ヶ月〜6歳児まで3名のお子さんを大会開始から終了までの間お預かりし、用意した遊具やおもちゃで遊んだり、お昼寝の時間を設けたり、安全かつ楽しい時間をご提供。事前告知が不十分だったこともあり、今回は少人数ではありましたが、概ねご好評をいただきました。



女性部会部長 菊池としえ



今後も諸々の反省点などを改善し、選手も役員も応援の皆さんも安心して大会にご参加いただけるよう努めてまいります。

各種大会の報告

【小学生】

令和6年度第44回静岡県少年団体選手権大会(全国少年柔道大会静岡県予選会)

令和6年2月25日(日)

静岡県武道館

●団体戦

- 1位 和道場
- 2位 誠心塾道場
- 3位 小山町柔道連盟
- 3位 神士館

第44回全国少年柔道大会

令和6年5月4日(土祝) 合同練成

令和6年5月5日(日祝) 試合練成

講道館大道場

●団体戦

- 和道場
- 予選リーグ(Jグループ) 3位
- 和道場▲2-3〇

五所川原柔道少年団(青森)

和道場▲0-5〇

宇治柔道会(京都)

第21回静岡県小学生学年別柔道大会

令和6年5月12日(日)

静岡県武道館

●男子個人戦

- 5年軽量級
- 1位 富田 陸(誠心塾道場)

- 2位 美馬 冬依(育誠館)
- 3位 塚本 大暉(藤枝柔道倶楽部)
- 中村 駿友(富士市柔道会)

- 5年重量級
- 1位 荒木 康成(和道場)
- 2位 角田 来大(育誠館)
- 3位 花澤 京真(NPO武道学舎)

- 6年軽量級
- 1位 水野 蒼太(神士館)
- 2位 松本 奏環(静岡東部柔クラブ)
- 3位 鮫嶋 陽太(浜北柔道)

- 6年中量級
- 1位 山崎 篤人(清水町柔道会)
- 2位 宮守 敦也(誠心塾道場)
- 3位 平澤 慶翔(神士館)

村松グルン良自衣(浜北柔道)

6年重量級

- 1位 犬塚 大翔(和道場)
- 2位 山本 昊聖(浜北柔道)
- 3位 北原 空(静岡練心館)

小野 史龍(小山町柔道連盟)

女子個人戦

- 5年軽量級
- 1位 市川 結彩(永友会)
- 2位 寺岡 穂(神士館)
- 3位 大橋 海音(SJU柔道クラブ)

- 5年重量級
- 1位 長尾 楓純(清流館)
- 2位 池田結佳子(誠心塾道場)
- 3位 大橋ひまり(静岡東部柔クラブ)

- 橋本あゆみ(袋井スポーツ協会)

- 6年軽量級
- 1位 加藤 きい(清水町柔道会)
- 2位 大石 幸侖(袋井スポーツ協会)
- 3位 森下 葉音(積武館)

- 6年中量級
- 1位 加藤 明泉(富士共栄道場)
- 2位 松村 美咲(永友会)
- 3位 鈴木 もも(田代道場)

- 6年重量級
- 1位 増田 帆奏(静岡東部柔クラブ)
- 2位 庄司 帆伽(小山町柔道連盟)
- 3位 今井 楓(田代道場)

- 6年男子重量級
- 1位 角田 来大(育誠館)
- 2位 高橋 湊(NPO武道学舎)
- 3位 野村 海成(NPO武道学舎)

令和6年9月16日(月祝)

第12回静岡県小学生学年別柔道選手権大会

●男子個人戦

- 4年男子軽量級
- 1位 渡邊真太郎(藤枝柔道倶楽部)
- 2位 山本 景大(藤枝柔道倶楽部)
- 3位 松原 哲平(育誠館)

宮崎 敬大(浜北柔道)

4年男子重量級

- 1位 小國 煌士(藤枝柔道倶楽部)
- 2位 薩川 暁人(田代道場)
- 3位 西山 太凱(藤枝柔道倶楽部)

- 5年男子軽量級
- 1位 富田 陸(誠心塾道場)
- 2位 美馬 冬依(育誠館)
- 3位 中村 駿友(富士市柔道会)

- 平野 晴朗(誠心塾道場)

- 5年男子重量級
- 1位 角田 来大(育誠館)
- 2位 高橋 湊(NPO武道学舎)
- 3位 野村 海成(NPO武道学舎)

- 6年男子軽量級
- 1位 水野 蒼太(神士館)
- 2位 中村 陽翔(育誠館)
- 3位 塚本 陽翔(おんが道場湖西)

- 6年男子中量級
- 1位 平澤 慶翔(神士館)
- 2位 松本 奏環(静岡東部柔道)
- 3位 渡邊 晃絆(高山柔道塾)

- 6年男子重量級
- 1位 犬塚 大翔(和道場)
- 2位 山崎 篤人(清水町柔道会)
- 3位 北原 空(静岡練心館)

山本 昊聖(浜北柔道)

女子個人戦

- 4年女子軽量級
- 1位 大石 徠璃(袋井ソフトボール)
- 2位 小出 珠綺(長田柔道倶楽部)
- 3位 坂野 花暢(高山柔道塾)

川守 麻央(静岡東部柔クラブ)

4年女子重量級

- 1位 鈴木ひより(田代道場)
- 2位 増田 凧彩(静岡東部柔クラブ)
- 3位 川口はな乃(三島柔道会)

- 5年女子軽量級
- 1位 市川 結彩(永友会)
- 2位 寺岡 穂(神士館)
- 3位 河野 心音(沼津柔道会)

- 齋藤 妃那(誠心塾道場)

- 5年女子重量級
- 1位 池田結佳子(誠心塾道場)
- 2位 大橋ひまり(静岡東部柔道)
- 3位 橋本あゆみ(袋井ソフトボール)

- 6年女子軽量級
- 1位 大石 幸侖(袋井ソフトボール)
- 2位 森下 葉音(積武館)
- 3位 齋藤 仁菜(豊田柔道クラブ)

- 6年女子中量級
- 1位 加藤 きい(清水町柔道会)
- 2位 加藤 明泉(富士共栄道場)
- 3位 鈴木 彩花(清水町柔道会)

- 6年女子重量級
- 1位 庄司 帆伽(小山町柔道連盟)
- 2位 鈴木 芽以(浜北柔道)
- 3位 松村 美咲(永友会)

上杉 紗菜(SJU柔道クラブ)

【中学生】

第2回柔道マガジン杯全国中学生柔道大会

令和6年3月23日(土)~24日(日)

横浜武道館

男子団体オープンの部

- 静岡県園中 トーナメント(1部)
- 2回戦敗退

- 長岡中 トーナメント(2部)
- 1回戦敗退

友愛道場

トーナメント(3部)

1 回戦敗退

●女子団体の部

静岡翔洋中等部

トーナメント(1部)

1 回戦敗退

長岡中

トーナメント(3部)

2 回戦敗退

第13回静岡県柔道協会長杯中
学校柔道大会

令和6年5月3日(金祝)

静岡県武道館

●男子団体の部(中学校の部)

1位 静岡翔洋中等部

2位 静岡学園中

3位 長岡中

●女子団体の部(中学校の部)

1位 藤枝順心中

2位 新居中

3位 長岡中

●男子団体の部(クラブチームの部)

1位 育誠館

2位 藤枝柔道倶楽部

●女子団体の部(クラブチームの部)

1位 育誠館

2位 伊東柔好会

静岡県中学校総合体育大会柔
道競技の部

令和6年7月24日(水)～25日(木)

静岡県武道館

●男子団体の部

1位 静岡学園中

2位 静岡翔洋中等部

3位 高台中

長岡中

●女子団体の部

1位 藤枝順心中

2位 静岡翔洋中等部

3位 育誠館

浜北北部中

●男子個人戦

・50kg級

1位 佐藤 和空(静岡翔洋中)

2位 松原 譲(育誠館)

3位 松原 大地(育誠館)

村上虎太郎(函南中)

・55kg級

1位 薮田 武尊(長岡中)

2位 永田 夏輝(浅羽中)

3位 平野 瑛大(藤枝柔俱)

小澤 慶吾(静岡翔洋中)

・60kg級

1位 渡部龍ノ臣(静岡学園中)

2位 浅井 嘉忠(育誠館)

3位 伊藤 飛喬(浜名中)

高村 飛隆(北浜中)

・66kg級

1位 濱田 凱己(高台中)

2位 神田 琉空(長岡中)

3位 町田 陽向(静岡学園中)

久保 将杜(静岡学園中)

・73kg級

1位 橋本 圭登(静岡学園中)

2位 藤田 将天(笠井中)

3位 白川 羽琉(吉原一中)

清水 楽(静岡翔洋中)

・81kg級

1位 岩田 照宥(静岡翔洋中)

2位 渡辺関太郎(静岡学園中)

3位 大村 修也(高台中)

池田 英慎(静岡学園中)

・90kg級

1位 金子 翔(静岡翔洋中)

2位 横野 慶多(静岡学園中)

3位 岩田 聖羅(清水町柔会)

竹内 峻真(北浜東部中)

・90kg超級

1位 芦澤 大和(静岡翔洋中)

2位 松本 竜季(和道場)

3位 竹口 大晴(友愛道場)

星谷 愛彪(長岡中)

●女子個人戦

・40kg級

1位 小山 柚香(藤枝順心中)

2位 吉田 唯良(藤枝順心中)

3位 加藤 優心(藤枝順心中)

田嶋 凜(磐田第一中)

・44kg級

1位 伊東 柚葉(長岡中)

2位 諸井 灯(袋井中)

3位 柿元里桜那(北星中)

福本磨於実(北浜中)

・48kg級

1位 福尾 理円(袋井中)

2位 山崎 奏多(静岡翔洋中)

3位 杉浦 聖麗(浜北北部中)

松永 凜音(静岡南中)

・52kg級

1位 植村 琴菜(藤枝順心中)

2位 平野 舞(心結館)

3位 山本 夏那(新居中)

沢田 七海(伊東柔道会)

・57kg級

1位 帯金 柚良(藤枝順心中)

2位 新村 咲笑(北星中)

3位 山河 美羽(城南静岡中)

通場 真尋(城南静岡中)

・63kg級

1位 村越 凜(藤枝順心中)

2位 伊藤 由衣(静岡翔洋中)

3位 佐野 陽咲(静岡学園中)

神田 莉緒(長岡中)

・70kg級

1位 杉本 奈優(育誠館)

2位 澤口 風花(藤枝柔道倶楽部)

3位 岡本 彩葉(磐田南部中)

大城 星夢(浜北北部中)

・70kg超級

1位 白井 悠心(新居中)

2位 吉永 朱里(藤枝順心中)

3位 山影ダエラ(大里中)

小泉 凜璃(伊東柔道会)

第46回東海中学校総合体育大
会柔道大会

令和6年8月7日(水)～8日(木)

大垣市武道館

●男子団体の部

3位 静岡翔洋中等部

●女子団体の部

1位 藤枝順心中

●男子個人戦

・50kg級

3位 村上虎太郎(函南中)

3位 佐藤 和空(静岡翔洋中)

・55kg級

2位 薮田 武尊(長岡中)

・66kg級

3位 濱田 凱己(高台中)

・73kg級

2位 藤田 将天(笠井中)

・81kg級

3位 橋本 圭登(静岡学園中)

・90kg級

1位 横野 慶多(静岡学園中)

・90kg超級

3位 金子 翔(静岡翔洋中)

●女子個人戦

・40kg級

1位 小山 柚香(藤枝順心中)

2位 吉田 唯良(藤枝順心中)

・48kg級

3位 福尾 理円(袋井中)

・52kg級

3位 植村 琴菜(藤枝順心中)

・57kg級

1位 帯金 柚良(藤枝順心中)

・63kg級

1位 村越 凜(藤枝順心中)

・70kg級

3位 澤口 風花(藤枝柔道倶楽部)

・70kg超級

3位 杉本 奈優(育誠館)

・70kg超級

3位 白井 悠心(新居中)

第55回全国中学校柔道大会

令和6年8月20日(火)～23日(金)

長野県立武道館

●男子団体戦

静岡学園中 予選リーグ敗退

●女子団体戦

藤枝順心中

決勝トーナメント1回戦敗退

●男子個人戦

50 kg級

佐藤 和空 (静岡翔洋中)

5位

55 kg級

藪田 武尊 (長岡中) 2回戦敗退

60 kg級

渡部龍ノ臣 (静岡学園中) 2回戦敗退

66 kg級

濱田 凱己 (高台中) 2回戦敗退

73 kg級

橋本 圭登 (静岡学園中) 3回戦敗退

81 kg級

岩田 照宥 (静岡翔洋中) 2回戦敗退

90 kg級

金子 翔 (静岡翔洋中) 5位

90 kg 超級

芦澤 大和 (静岡翔洋中) 2回戦敗退

●女子個人戦

40 kg級

小山 柚香 (藤枝順心中) 3位

44 kg級

伊東 柚葉 (長岡中) 3回戦敗退

48 kg級

福尾 理円 (袋井中) 1回戦敗退

52 kg級

植村 琴菜 (藤枝順心中) 2回戦敗退

57 kg級

帯金 柚良 (藤枝順心中) 3位

63 kg級

村越 凜 (藤枝順心中) 3位

70 kg級

杉本 奈優 (育誠館) 2回戦敗退

70 kg 超級

白井 悠心 (新居中) 2回戦敗退

2024年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会

令和6年9月22日(日祝)

東京武道館

●中学生男子の部

静岡学園中 1回戦敗退

静岡翔洋中等部 2回戦敗退

●中学生女子の部

藤枝順心中 1回戦敗退

【高校生】

第46回全国高等学校柔道選手権大会

令和6年3月19日(火)～20日(水祝)

日本武道館

●男子団体戦

加藤学園 3回戦敗退

●女子団体戦

東海大翔洋 3回戦敗退

●男子個人戦

60 kg級

石川 健 (静岡学園) 5位

66 kg級

長屋 進 (加藤学園) 2回戦敗退

73 kg級

前田優生翔 (東海大翔洋) 5位

81 kg級

川合 遼 (静岡学園) 3位

無差別級

佐藤 然治 (加藤学園) 3回戦敗退

●女子個人戦

48 kg級

新夕 志桜 (藤枝順心) 3回戦敗退

52 kg級

松村 美来 (飛龍) 2回戦敗退

57 kg級

渡部 華奈 (静岡学園) 2回戦敗退

63 kg級

永田りん子 (東海大翔洋) 2回戦敗退

無差別級

中道 咲桜 (東海大翔洋) 3回戦敗退

第71回静岡県高等学校総合体育大会柔道競技

令和6年5月18日(土)、25日(土)

静岡県武道館

●男子団体

1位 加藤学園

●男子個人戦

60 kg級

1位 石川 健 (静岡学園)

66 kg級

1位 長屋 進 (加藤学園)

73 kg級

1位 山口 政嗣 (東海大翔洋)

81 kg級

1位 川合 遼 (静岡学園)

90 kg級

1位 岡本 旺季 (加藤学園)

100 kg級

1位 佐藤 然治 (加藤学園)

100 kg 超級

1位 諸橋 剛太 (加藤学園)

●女子団体

1位 東海大翔洋

●女子個人戦

48 kg級

1位 新夕 志桜 (藤枝順心)

52 kg級

1位 村松 杏咲 (藤枝順心)

57 kg級

1位 三木 くに (浜松西)

63 kg級

1位 永田りん子 (東海大翔洋)

70 kg級

1位 笠間 芽伊 (加藤学園)

78 kg級

1位 中道 咲桜 (東海大翔洋)

78 kg 超級

1位 吉永 芭奈 (藤枝順心)

第71回東海高等学校総合体育大会柔道競技

令和6年6月22日(土)～23日(日)

大垣市武道館

●男子団体

1位 静岡学園

2位 加藤学園

●男子個人戦

60 kg級

1位 石川 健 (静岡学園)

2位 渡邊 誉一 (加藤学園)

66 kg級

1位 長屋 進 (加藤学園)

81 kg級

1位 城本 憲生 (東海大翔洋)

3位 川合 遼 (静岡学園)

90 kg級

2位 米山 大夢 (東海大翔洋)

3位 岡本 旺季 (加藤学園)

100 kg級

1位 佐藤 然治 (加藤学園)

2位 大橋 弘誠 (静岡学園)

100 kg 超級

2位 諸橋 剛太 (加藤学園)

●女子団体

3位 東海大翔洋

●女子個人戦

48 kg級

1位 森下 南知 (藤枝順心)

2位 新夕 志桜 (藤枝順心)

52 kg級

1位 村松 杏咲 (藤枝順心)

3位 萩原 実波 (東海大翔洋)

57 kg級

2位 三木 くに (浜松西)

70 kg級

3位 笠間 芽伊 (加藤学園)

78 kg級

1位 中道 咲桜 (東海大翔洋)

78 kg 超級

3位 吉永 芭奈 (藤枝順心)

第55回全国高等学校定時制通信制柔道大会

令和6年8月4日(日)

講道館

●男子団体戦

静岡県 3位

●男子個人戦

- 65 kg級 松井 邑哩(キラリ) 3回戦敗退
- 75 kg級 大倉 愛翔(浜松工業) 3位
- 90 kg級 ロドリゲス レナン サトウ(富士) 2回戦敗退
- 90 kg超級 酒見 悠我(キラリ) 3回戦敗退

●女子団体戦

- 静岡県 1回戦敗退

●女子個人戦

- 52 kg級 酒井 美玖(富士) 2回戦敗退
- 63 kg級 芹澤 綺麗(キラリ) 1位
- 63 kg級 山本 和美(キラリ) 3回戦敗退
- 63 kg超級 山本 愛美(磐田南) 3位

令和6年度全国高等学校総合体育大会

令和6年8月10日(土)～14日(水) レンタツ武道スポーツセンター(大分県)

●男子団体

- 加藤学園 3回戦敗退

●男子個人戦

- 60 kg級 石川 健(静岡学園) 3位
- 66 kg級 長屋 進(加藤学園) 5位
- 73 kg級 山口 政嗣(東海大翔洋) 3回戦敗退

81 kg級

- 川合 遼(静岡学園) 3回戦敗退

90 kg級

- 岡本 旺季(加藤学園) 2回戦敗退

100 kg級

- 佐藤 然治(加藤学園) 3位

100 kg超級

- 諸橋 剛太(加藤学園) 1回戦敗退

●女子団体

- 東海大翔洋 2回戦敗退

●女子個人戦

- 48 kg級 新夕 志桜(藤枝順心) 1回戦敗退
- 52 kg級 村松 杏咲(藤枝順心) 2回戦敗退
- 57 kg級 三木 心(浜松西) 3回戦敗退
- 63 kg級 永田りん子(東海大翔洋) 5位
- 70 kg級 笠間 芽伊(加藤学園) 3回戦敗退
- 78 kg級 中道 咲桜(東海大翔洋) 3回戦敗退
- 78 kg超級 吉永 芭奈(藤枝順心) 2回戦敗退

第6回文武両道杯全国高校柔道大会

令和6年12月14日(土) 講道館

●男子団体戦

- 浜松西高 1位

第47回全国高等学校柔道選手権大会静岡県予選(男女個人)

令和7年1月18日(土) 静岡県武道館

●男子

- 60 kg級 優勝 高岡 颯人(静岡学園)
- 66 kg級 優勝 狩野 央輔(静岡学園)
- 73 kg級 優勝 門倉 寛太(静岡学園)
- 81 kg級 優勝 川合 遼(静岡学園)
- 無差別級 優勝 諸橋 剛太(加藤学園)



●女子

- 48 kg級 優勝 森下 南知(藤枝順心)
- 52 kg級 優勝 村松 杏咲(藤枝順心)
- 57 kg級 優勝 松村 美来(飛龍)

- 63 kg級 優勝 富永あい子(藤枝順心)
- 無差別級 優勝 前川 茉愛(飛龍)



以上の選手は全国大会に出場する

〈全国大会日程〉

令和7年3月19日(水) 日本武道館

第47回全国高等学校柔道選手権大会静岡県予選(男女団体)

令和7年1月25日(土) 静岡県武道館

●男子

- 優勝 静岡学園高校



●女子

- 優勝 飛龍高校



以上の学校は全国大会に出場する

〈全国大会日程〉

令和7年3月20日(木祝) 日本武道館

令和6年度静岡県ジュニア柔道体重別選手権大会

令和6年6月8日(土)

静岡県武道館

●男子個人戦

60 kg級

1位 石川 健 (静岡学園高)

66 kg級

1位 長屋 進 (加藤学園高)

73 kg級

1位 小田 優斗 (加藤学園高)

81 kg級

1位 川合 遼 (静岡学園高)

90 kg級

1位 岡本 旺季 (加藤学園高)

100 kg級

1位 佐藤 然治 (加藤学園高)

100 kg超級

1位 大橋 弘誠 (静岡学園高)

●女子個人戦

48 kg級

1位 新夕 志桜 (藤枝順心高)

52 kg級

1位 村松 杏咲 (藤枝順心高)

57 kg級

1位 三木 心 (浜松西高)

63 kg級

1位 永田りん子 (東海大翔洋高)

70 kg級

1位 笠間 芽伊 (加藤学園高)

78 kg級

1位 中道 咲桜 (東海大翔洋高)

【ジュニア】

78 kg超級
1位 後藤穂乃香 (浜松商業高)

2024年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会

令和6年9月7日(土)～8日(日)

高崎アリーナ

●男子66 kg級

長屋 進 (加藤学園高) 3位

●男子81 kg級

川合 遼 (静岡学園高) 2回戦敗退

●男子100 kg級

佐藤 然治 (加藤学園高) 2回戦敗退

●女子52 kg級

村松 杏咲 (藤枝順心高) 1回戦敗退

●女子78 kg級

中道 咲桜 (東海大翔洋高) 2回戦敗退

【一般】

2023年度全日本シニア柔道体重別選手権大会

令和6年2月24日(土)～25日(日)

大浜たいしんアリーナ (堺市立大浜体育館)

●男子個人戦

60 kg級

芹沢 翔哉 (静岡県警察) 1回戦敗退

66 kg級

長屋 涼 (静岡県警察) 2回戦敗退

90 kg級

山田龍之介 (静岡県警察) 3回戦敗退

100 kg超級

入江 翼 (静岡県警察) 1回戦敗退

令和6年度第24回東海「形」競技大会

令和6年6月1日(土)

講道館(大道場)

●投の形

取..正治 和也

受..芹沢 翔哉 優勝

●固の形

取..森田 賢一

受..猪又 功 準優勝

●講道館護身術

取..鈴木 清仁

受..曾根 由多 準優勝

●五の形

取..杉山 信幸

受..杉山 元彦 準優勝

●古式の形

取..渡邊 達也

受..大村 恭一 優勝

令和6年度全日本「形」競技大会

令和6年5月5日(日祝)

鈴鹿市武道館

●投の形

取..正治 和也

受..芹沢 翔哉 8位

●古式の形

取..渡邊 達也

受..大村 恭一 5位

2024年度静岡県成年柔道体重別選手権大会

令和6年7月15日(月祝)

静岡県武道館

●男子個人戦

60 kg級

1位 山本 蒼良 (宇治柔道会)

73 kg級

1位 多田 陽平 (静岡県警察)

90 kg級

1位 齋藤 光星 (静岡県警察)

無差別級

1位 米山 竜生 (静岡県警察)

●女子個人戦

57 kg級

1位 小林 美咲 (静岡県警察)

無差別級

1位 本郷 安季 (鷹柔クラブ)

2024年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会

令和6年11月2日(土)～3日(日祝)

高崎アリーナ

●男子66 kg級

長屋 進 (加藤学園高) 2回戦敗退

令和7年度全日本柔道選手権大会・全日本女子柔道選手権大会 静岡県予選会

令和7年1月19日(日)

静岡県武道館

●男子

1位 米山 竜生 (静岡県警察)

2位 井上 直弥 (静岡県警察)

●女子
1位 山本 杏 (静岡県警察)
2位 中道 咲桜 (東海大翔洋高校)



以上の選手は東海地区予選会に出場する
〔東海地区予選会日程〕
令和7年3月2日(日)
津市産業スポーツセンター



全日本小学生育成プロジェクト2024

令和6年8月25日(日) 横浜武道館

今年で3回目の開催を迎える全日本小学生柔道育成プロジェクト2024が横浜武道館にて、令和6年8月25日(日)開催されました。

静岡県代表として、第21回静岡県小学生学年別柔道大会において男女各3階級の優勝者から男女2選手ずつが選出されました。

出場選手

山崎 篤人(清水町柔道会)

犬塚 大翔(和道場)

加藤 さい(清水町柔道会)

増田 帆奏(静岡東部柔道クラブ)

以上4選手が参加しました。

午前中は柔道MINIDについての講話を宇高菜絵先生(2014チェリヤビンスク世界選手



権金メダリスト)、国内における少年特別規定の審判講習会を山本良先生(全日本柔道連盟審判副委員長)によって行われました。

その後、参加全選手により準備体操、打ち込み等のウォーミングアップが行われました。普段の環境と違う中でウォーミングアップであり、静岡県代表の4選手も最初は緊張気味でありましたが、時間が経つにつれ少しずつ場の雰囲気にも慣れ、練習試合では自分の力を十分発揮する素晴らしい試合を展開してくれました。

各選手3試合ずつ試合を行い、全国から参加した柔道の仲間達と組み合わせ、力を肌で感じ、自分自身の現在の全国でのレベルを知る良い経験ができました。

午後からは柔道教室が行われ、2024パリオリンピックに出場した73キログラム級銅メダリストの橋本壮市選手(浜松市・育誠館出身)の立技指導と63キログラム級の高市未来選手

の寝技指導が開催されました。世界で活躍する2選手の技を体験し、今後の柔道に大いに影響を与える経験となりました。

また富田寿人先生(日本スポーツ協会・JSPORACP講師)によるアクティブチャイルドプログラムでは、参加した選手だけでなく、講話や技術指導をしてくださった宇高先生や橋本選手、高市選手またサポートに協力してくれた東海大学柔道部の学生も含め、柔道の要素を取り入れたトレーニングを楽しく行うことができました。このトレーニングによって、一気に雰囲気も和み全国の仲間と楽しい時間を過ごすことができました。

参加した選手だけでなく、私自身も育成プロジェクトを通じて指導者として参考となる部分が多くあり充実した1日となりました。

参加した選手からは、『強い選手たちが沢山参加していて、普段経験できないことが経験できて凄く楽しかったです。全国

にも友達ができたので、中学生になって全国大会で再会できるように頑張っていきたいです。』と今後の意気込みを語ってくれました。

今回このようなプロジェクトを開催してくださった全日本柔道連盟や静岡県の代表として4名の選手を派遣してくださった静岡県柔道連盟に感謝し、このプロジェクトの目的である、『わが国の将来を担う小学生の心身ともに健全な育成を目指し、審判講習会や柔道教室、練習試合を通して国内における少年大会特別規程の徹底と技の習得を図るとともに、児童相互の交流・親睦及び正しい柔道の普及・発展を期する。』という目的を、参加した4名の選手が静岡県の小学生に模範として示していくことを期待していきくとともに、我々指導者も勝利至上主義に偏ることなく柔道を通じて人間形成に努めていき、社会に貢献できる人材を育成していく指導を行ってまいります。

静岡県帯同指導員 増田圭省



優秀選手紹介コーナー

本年度の全国大会へ静岡県を代表して出場し、好成績を取めた若手選手に、大舞台ならではの緊張感や、試合に臨む気持ちなど、大会を振り返っていただきました。

第46回 全国高等学校柔道選手権大会
令和6年3月19日 / 日本武道館

男子個人81kg級 第3位

川合 遼 (静岡学園高等学校2年)
「大会を振り返って」



私は3月に開催された全国高校柔道選手権の81kg級で3位に入賞しました。優勝を目指していただけに、悔しさが残る結果ではありませんでしたが、高校生活で初めて全国大会で入賞できたことは大きな手応えとなりました。

試合内容については、初戦は短時間で勝利することができましたが、2回戦から準決勝まではすべて延長戦にもつれる接戦となりました。準々決勝までの試合は実力者との対戦が続き、長く厳しい戦いとなりましたが、自分の持ち味であるスタミナを活かし、粘り強く勝ち進むことができました。

準決勝では神奈川県代表の選手と対戦しました。本戦の3分間は自分のペースで試合を進め、指導1枚をリードした状態で延長戦に突入しました。しかし、延長戦開始から1分過ぎ、不用意に仕掛けた大外刈を返され、技ありを奪われて敗退となりました。

この大会を通じて、どのような相手にも通用する投げ技の技術と力が必要だと痛感しました。この悔しさを糧に、来年こそ必ず優勝を勝ち取れるよう、これからも練習に励んでいきます。

第73回 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会 令和6年8月11日・12日 / レゾナック武道スポーツセンター

男子個人60kg級 第3位

石川 健 (静岡学園高等学校3年)
「大会を振り返って」



私は全国高等学校柔道大会に出場し、日本一を目指して戦いましたが、結果は3位で非常に悔しい思いをしました。1、2回戦では自分の得意技が決まり良いペースで試合を進べました。準々決勝では、選手権大会で初戦の相手だった選手と再戦し、相手に私の組み手や技を知られて苦戦しましたが、何とか小外刈を決めて一本勝ちを収めました。

準決勝では、選手権大会で敗れた相手と再び対戦しました。本戦中に指導を一つ取られ、ゴールデンスコアに突入後、焦りから技をかけた際に返され一本負けとなりました。同じ相手に再び敗れる悔しさを痛感しましたが、ここまで戦えたことは自分にとって大きな成長の証と感じています。

小中学生の頃は県大会に出場することすら難しかった私が、全国大会で表彰台に立つまでになったのは、先生方や仲間たちの支えがあったからです。努力の大切さや人とのつながりのありがたさを実感し、大学ではさらに技術や精神面を磨き、日本一を目指して全力で取り組みたいと考えています。

男子個人100kg級 第3位
佐藤 然治 (加藤学園高等学校3年)
「大会を振り返って」



全国高校総体の100kg級に出場しました。日本一を目指していましたが、3位という悔しい結果になってしまいました。

初戦は、那覇西高校の選手と戦いました。初戦だったので体が思うように動きませんでした。なんとか得意技の袖釣りで勝つことができました。2回戦目は高松商業高校の選手でした。相手はとも力が強く自分が思うような柔道が出来ず技が決まりませんでした。しかし、いつも練習でやってきた組み手を徹底して積極的に攻めることができました。3回戦目は四日市中央工業高校の選手と戦いました。相手はとも組み手が上手い選手だったので相手のペースにしないで組み手をし、袖釣りと内股で技ありをとり勝つことができました。準々決勝は神港学園の選手で、身長が高く力が強い選手でした。相手は大きい選手だったので後ろに下がらず前に出る柔道をして一瞬の隙をつき袖釣りで一本を取ることができました。準決勝は東海大相模高校の選手でした。勝負イメージを持って試合に臨みましたが自分からうまく技に入ることが出来ませんでした。試合開始2分ぐらいに自分がうまく持てていない時に相手の背負い投げを受けてしまいそのまま投げられ一本を取られてしまいました。とても悔しい試合でした。この結果に満足せず、大学で日本一になれるよう努力を重ね頑張りたいと思います。

2024年度 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
令和6年9月8日 / 高崎アリーナ

男子個人66kg級 第3位

長屋 進 (加藤学園高等学校3年)
「大会を振り返って」



全日本ジュニア柔道大会の66kg級に出場しました。インターハイでは準々決勝で負け、とても悔しい思いをしたので、リベンジするつもりでこの大会に挑みました。初戦は天理大学の選手と戦いました。緊張で体がうまく動かず苦戦を強いられましたが、粘りと意地を出し相手の技を返して勝つことができました。2回戦では新田高校の選手と戦いました。同じ高校生ということもあり絶対に負けたくないという気持ちで試合に挑みました。自分の得意技である大外刈りで一本を取り勝つことができました。準々決勝ではインターハイ王者である修徳高校の選手と戦いました。自分の力がかたという挑戦の気持ちで臨みました。やはり力の差は大きく指導3つで負けてしまいました。とても悔しかったです。敗者復活戦に向けて上手く気持ちを切り替えることができました。敗者復活戦は、清和大学の選手と戦いました。あまり緊張せずいつもの練習通りの動きができ、2分程で相手の技を返して一本勝ちをすることができました。3位決定戦では、山梨学院大学の選手と戦いました。な

ぜか緊張せずリラックスして試合に挑めました。自分のペースで試合を進めることができ有る展開でGSに入りました。いつも練習していた相手の技の戻り際で技を投げることができました。自分が思っていた以上の結果や試合内容ができて嬉しかったです。しかし同じ高校生が優勝してやはり悔しかったです。次は自分が優勝したいという気持ちがとても強くありません。この結果に満足することなく大学でも日本一を目指して頑張っていきます。

第55回 全国高等学校定時制通信制体育大会柔道競技
令和6年8月4日 / 講道館

女子個人63kg級 優勝
芹澤 綺麗 (キラリ高等学校2年)



私は第55回全国高等学校定時制通信制体育大会柔道競技に出場しました。この大会では、前回対戦したライバルたちから「私の分も頑張って」「優勝しなさい」といった温かい激励を受け、大きな励みになりました。特に、直前まで対戦していた相手から応援の声をかけられたときには深く感動し、柔道が生む人と人との絆を改めて実感しました。また、今年の大会では、昨年は出場していなかった1年生との対戦もあり、これまでにない新鮮な体験となりました。昨年の大会では決勝戦で惜敗し、悔しい思いを味わいました。その経験を胸に、「今年こそは」という強い決意で挑みま

した。どの試合でも全て立技で勝利を決めることを目標に掲げていましたが、今回は自分の動きが思うようにいかず、目標を達成することはできませんでした。それでも、自分に足りない部分を痛感し、来年こそは自分にらしい柔道で勝利を掴むために、さらに練習を重ね努力を続けていきたいと思っています。

第55回全国中学校柔道大会
令和6年8月22日 / 長野県立武道館

女子個人40kg級 第3位
小山 柚香 (藤枝順心中学校1年)



「まだまだできた」という後悔が残る試合になってしまいました。小学校1年生から柔道を始め、全国優勝を目標として頑張ってきました。そして今回の大会は準決勝まで進み、決勝まであと一歩というところで負けてしまいました。今までの試合の中で一番緊張と不安が大きかったのですが、「自分は大丈夫」と言い聞かせて緊張をプラスに変えられるようにしました。準決勝では相手に崩されてしまうことが多く、怖くなって技に入るものが出来なくなりました。消極的指導で負けてしまいました。甘さや覚悟のなさ、気持ちの弱さなど、自分の悪いところが出た試合だったと思います。次の全国大会では優勝を出るように、人のせいにしてしまわずに自分自身に厳しく練習に取り

組んでいきます。

女子個人57kg級 第3位
帯金 柚良 (藤枝順心中学校3年)



全国中学校柔道大会を終えて、悔しさの残る結果でしたが、試合の中では自分の力を全て出し切ることが出来たと思います。しかし、目標としていた全国優勝には届きませんでした。8月20日に行われた団体戦では、予選リーグを突破したものの、決勝リーグ初戦敗退でした。自分自身の力を100%出し切ることが出来ませんでした。22日の個人戦前日の夜に中学3年生で部屋に集まって、明日の試合が中学校生活最後の大会だから、絶対に悔いのない試合をしようと思いで誓いました。初戦からリラックスして落ち着いた試合が出来ました。今まで練習してきた技で決めることが出来て嬉しかったです。特に中学に入学してから始めた腹包みで勝つことが出来、とても達成感がありました。準決勝で負けてしまいましたが、試合時間3分間のなかですべて出し切ることが出来ました。目標としていた全国優勝は達成できなかったのですが、この悔しさを高校柔道で生かしていきたいです。

女子個人63kg級 第3位
村越 凜 (藤枝順心中学校3年)



全国中学校柔道大会を終えて、悔しさの残る大会でした。

が、自分の中では今までの練習の成果を出せた試合でもありませんでした。しかし、目標にしていたのは「日本一」だったので、悔しい気持ちの方が大きいです。まず、8月20日の団体戦は、福井工大に負けてベスト16で終わってしまいました。最後は大将として出場しましたが、私には負けが悔しかったです。その日の夜、加賀谷先生の「団体戦の悔しさを個

人戦で晴らす以外ない」という言葉を聞いて、絶対勝ちぬいてやると思います。そのためにも、まずは落ち着いて、やってきたことを全て出し切り、後悔のないように戦おうと試合に挑みました。どの試合もギリギリの試合で、結果は第3位でした。勝つチャンスがあった試合を勝ちきれず悔しい思いをしたので、その悔しさを高校で絶対に晴らしてやろうと思います。

国際大会で活躍するアスリート
第2回 世界ろう者柔道選手権大会
男子66kg級 優勝



佐藤正樹 (裾野柔道会)

2024年4月に、カザフスタンで開催された世界ろう者柔道選手権大会で66kg級に出場し、初戦から決勝戦までオール一本で優勝することができました。前回大会が準優勝だった為、リベンジを果たせてとても嬉しかったです。

会では優勝し、高校では山梨県立甲府工業高校に進学して、山梨県大会 個人戦 66kg級で優勝しています。聴覚障がいによるハルネがありがたながらも、乗り越えて大会で結果を出してきました。高校卒業後、就職の為に静岡県に引っ越し、現在では裾野柔道会に所属しており、高校で部活動指導員として指導し、個人で柔道教室も開催しています。これからも静岡県で柔道の発展・普及に貢献できるように努めていきます。

この機に私自身の自己紹介をさせていただきます。5年生は日本で生まれつきの聴覚障がいがあり、5歳の時に大明見柔道スポーツ少年団(現・明生館)で柔道を始めました。ちなみにパリオリンピック 57kg級 銅メダルリストの舟久保遥香選手と同じ道場です。小学生、中学生で数多くの大

5年生は日本でデフリンピックが開催され、そこでも優勝して、多くの方々にも勇気や希望、感動を与えられるように頑張ります！



道場紹介

県内各地でがんばっている「道場」を各地区2道場ずつ紹介します。

- ①名称
- ②住所(練習場所)
- ③連絡先
- ④代表者氏名
- ⑤所属人数

神士館

- ②三島市文教町2-10-57
- ③090-7029-7818
- ④神山信之
- ⑤幼児1名
小学生14名
中学生10名

⑥道場紹介
神士館は、昭和年61年12月、三島市谷田にて、地域の子供達を対象に柔道を通しての健全育成と柔道競技の普及を目的に神山巖先生が神士館神山道場を開設しました。平成2年に全国大会初出場、その後、平成17年に谷田の道場を閉館。神士館神山道場を「神士館」に改名し、固定の練習場所が無いまま、日大三島高校や錦田中学校・市民体育館を借り、何とか活動を継続し、平成21年に全国大会出場延べ10回を達成しました。現在も練習場所の確保に苦労しながら、週4回の練習を重ね、県の代表チームになることを目標に頑張っています。しかしなが



ら、少子化で子供達が減る中、試合に勝つ以前に道場を存続させることの方が重要な課題となっています。如何にて柔道の魅力を伝え、新入生を増やしていくか、日々悩み続けているところです。

柔道をやってみたい、柔道が続けたい、と思ってもらうには、今の時代は、楽しくなければ駄目であり、楽しい雰囲気での練習が出来る様に心掛けていま

す。柔道未経験者に携わる我々町道場は、まずは基本である礼法・受身を大切にし、怪我をしない身のこなし方を覚え、どうしたら相手を投げられるのかを、自ら考え、工夫する、柔道の基礎を理解することで、柔道が楽しくなり、柔道を好きになる、こんな子供達が増えてくれる道場でありたいと思います。これからも柔道の底辺拡大の一助を担える様、精進していきます。

田代道場

- ②沼津市西島町20-48
- ③055-932-8922
- ④田代浩一
- ⑤幼児2名
小学生15名
中学生11名
高校生9名
社会人18名

⑥道場紹介
田代道場は昭和63年1月30日に開設。田代浩一、山本洋一、渡邊寿久の3名と生徒30名で始動し、開設直後から団体戦で全国大会に3年連続出場という実績を残しました。
当初は月曜から土曜の週6日、18時から21時まで二部制の練習を行っていましたが、現在は月・水・金(土曜は隔週)の18時半から20時半に変更。近隣のみならず熱海市など遠方から通う生徒もいました。



稽古内容は礼法、受け身、サーキットトレーニング、学校体育を意識した体操に加え、投げ技を中心とした指導で、各個人の体格や成長段階に合わせた得意技の育成に注力。年間を通して楽しいイベントも開催しています。

「楽しく練習して強くなる!」という方針を貫き、子供たちに無理をさせず、指導者・保護者も力みすぎないことを心掛けています。開設当初からの指導者が現在も指導を継続しているのは大きな特徴です。

創立40周年を迎え、嘉納治五郎先生の柔道修行の目的を忘れず、伝統の保護者会と共に柔道を継承していくことを目指しています。



静岡練心館 岡川道場

- ②清水総合運動場武道場 他
静岡市清水区清開
2-1-1
- ③080-1601-5874
(稲益)
- ④館長 岡本雅之
- ⑤幼児・小中学生：4名
一般：6名

⑥道場紹介
静岡練心館は、平成14年(2002年)4月に設立された道場で、静岡市を拠点に活動しています。現在は少人数制で、主に幼児から中学生を対象に活動を行っています。また、年に数回、社会人メンバーを中心に、一般の大会にも参加しています。幼児から中学生までの部では、成長段階に合わせた体力づ

くりや技術の習得を目指して
ます。さらに、家庭や学校に次
ぐ「第3の居場所」となること
を目標に、子どもたちにとつて
居心地の良い道場づくりを心が
けています。

一般の部では、大会が近づく
と、メンバーは仕事と両立しな
がら練習に励んでいます。安全
で楽しい柔道を実践することを
大切にしています。

本道場は、設立から20年以上
の間、多くの方々の支えを受け
て活動を続けてきました。これ
までに卒業したOB・OGたち
は、各々の分野で活躍していま
す。今後も、県内の伝統的な道
場を目指して、さらに精進し、
活動を続けていきます。

誠心塾道場

- ② 藤枝明誠中学校・高等
学校柔道場(藤枝大
洲2丁目2番地の1)
- ③ 090-9262-5353
- ④ 鈴木友太
⑤ 幼児2名
小学生17名
中学生11名
一般10名
指導者5名

⑥道場紹介

私たち誠心塾道場は藤枝明誠
スポーツクラブの柔道スクール
として活動しています。令和5
年11月1日に発足し、先日設立
1周年を迎えたとてもフレッ
シユな道場です。たっぷり3試



合場分の広さのある藤枝明誠の
柔道場にて、火曜・木曜・土曜
の週3回活動しています。藤枝
明誠高等学校の柔道部員が活動
に参加してくれることも多く、
非常に活気のある雰囲気と多様
な交流があることが特徴です。
私たちの道場名には「誠の心
のある、清く正しい人財(人は
宝)の育成を成す塾(学び舎)」
という願いが込められています。
あいさつや礼法、道場での
立ち居振る舞いの指導には特に
力を入れております。

また練習の際には小中高生か
ら一般参加者までが一堂に会し
て、常に真剣に稽古を励んでい
ます。様々な年代が揃っていま
すので、年長者が年少者に教え
てあげる、年少者が年長者に果
敢に挑むなど、厳しい中にあつ

ても楽しさを忘れずに練習を
行っています。
私たちは、柔道を通じて社会
に貢献できる人材の育成を目指
してまいります。また合同練習
会や大会の参加等によって他の
道場の皆様とも積極的に交流し
ていきたいと考えていますの
で、よろしくお願い致します。

菊川市柔道 スポーツ少年団

- ② 〒439-0022 静岡県
菊川市東横地1222-3
県立小笠高校内武道場
- ③ 090-2778-6425
- ④ 沖 寛貴
- ⑤ 幼児2名
小学生15名
中学生1名
一般3名

⑥道場紹介

菊川市柔道スポーツ少年団
は、毎週月曜日・水曜日19:00



心結館

- ② 掛川市内公共施設など
- ③ 080-6599-4161
(内田)
- ④ 内田紘味
- ⑤ 幼児3名
小学生15名
中学生6名
高校生2人
一般・指導者10名

⑥道場紹介

心結館は「共に学び、喜び合
う体験で一生の友を作ろう」を
理念に2022年6月に創立し
ました。

稽古日は、毎週火・金・土曜
日の19:00~21:00に公共施設
や県立高校の武道場をお借りし
て活動しています。

基礎、基本を大切にし、どう
したら子供たちに柔道の魅力を
伝え、楽しいと感じてもらえる

20:30の時間帯で県立小笠高
校の武道場で練習をしています。

中学生以上は昇段を目標とし
ています。小学生が大半を占め
るため、自分の練習の傍ら、小
学生への指導もし、年齢にかか
わらず和気あいあい稽古をし
ております。

小学生は、小学1年生~3年
生の低学年が13/15を占め、最
上級生も小学4年生が務めてお
ります。低学年には、柔道技術
も去ることながら、あいさつが
できること、靴が揃えられるこ



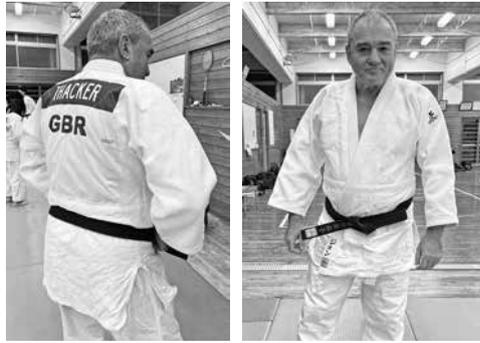
か、指導者全員で試行錯誤しな
がら、稽古に励んでいます。

今後は、他の道場さんとも交
流させていただき、柔道の輪を
広げていけたらと思っていま
す。皆様どうぞよろしくお願
い致します。

と、保護者や周りの人に感謝を
すること等の礼儀を伝えており
ます。体を動かすことが楽し
い、柔道が楽しいことを伝える
べく、綱引きやリレー、ボール
を使った遊び等柔道以外のス
ポーツも取り入れております。
小学4年生も他道場に負けない
くらいのリーダーシップでチー
ムを引っ張ってくれています。
まだまだ若いメンバーの道場
ですが、日々の鍛錬を欠かさ
ず、柔道の強さ・心の強さを求
めて精進してまいります。

柔道家紹介

「元イギリス海軍の柔道家」

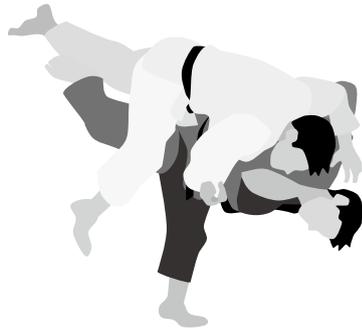


John Raymond Thacker (ジョン・レイモンド・タッカー) さん

昨年(2024年)の夏、静岡市立高松中学の年季の入った柔道場に一人の英国人柔道家が現れた。ジョン・レイモンド・タッカーさん63歳。元イギリス海軍の英国柔道六段は、決して大柄ではないもののガッチリとした体つきで、国際ゼッケンをつけた柔道衣のその広い背中はいかにも鍛え上げられた強固な肉体を物語っている。実に世界各国のマスターズ大会で何度も金メダルを獲得している強者。聞けばイギリス国籍を持ちながらも清水区民になったと...

母国ではむしろ小柄なタッカーさんは、小さな日本人が上背の憧れ、柔道にのめり込んでいくうちに日本に拠点を移すことに至ったという。現在清水区伊佐布に柔道場付きマイホームの建設計画中。今後も静岡を拠点に世界各地で行われるマスターズ大会に挑戦し続けると意欲的だ。

レポート…植田 秀



訃報



山梨 公良様 六段

(元静岡県柔道協会理事)(清水柔道倶楽部名誉師範)
令和6年12月25日 享年83歳をもって逝去されました。

柔道発展のために尽力され、多大な功績を残された山梨先生に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

本年度より広報委員長のご指名をいただいた植田と申します。思わぬ大役にいささか不安もございますが、仰せつかった職務を全うすべく努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、今回も多くの方々のご協力により本刊を発刊することができました。ご協力いただいた皆様にはスタッフ一同心より感謝申し上げます。

昨年は元旦早々に起こった能登半島地震に始まり、その大変な被害に追い打ちをかけるかのように同年9月には能登半島豪雨に見舞われ、災い多き年という印象でした。一方海外ではますます激化するウクライナ紛争や中東情勢など危機的な状態が続いており、国内外ともに暗いニュースが多い中、4年に一度

の世界的スポーツの祭典「パリ五輪」が開催された年でもありました。

自国開催の東京五輪の成績には遠く及ばなかったものの、金3つ、銀2つ、銅3つと好成績を収め、本県出身の橋本壮市選手も個人で銅メダル、混合団体では銀メダルを獲得し、柔道界も大いに盛り上がり、柔道気運も上向くことと期待されましたが、残念ながら県内の競技人口は相変わらず減少の一途を辿っております。

少子化問題や趣味の多様化などやむを得ない事情はあるものの、県柔道協会の各部署でも柔道発展のための地道な努力を続けております。そういった活動報告なども含め、内向きの情報だけでなく、外向きの情報も企画していきたいと思っておりますので、今後ともご協力のほどよろしく申し上げます。

(広報委員長 植田 秀)